

ワーキンググループの設置について(案)

以下の3ワーキンググループを防災対策推進検討会議に設置する

1. 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ(仮称)

①設置趣旨

「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による震度分布・津波高等を受けて、人的・物的被害や経済被害等の推計や被害シナリオの検討、東日本大震災の教訓を踏まえた、南海トラフ巨大地震対策について検討するために新たに防災対策推進検討会議の下に設置

②主な検討課題

- ・南海トラフ巨大地震による定量的な被害想定、定性的な被害シナリオ
- ・南海トラフの巨大地震に対する予防、応急、復旧・復興の各対策の方向性
- ・大規模地震対策特別措置法等に基づく地域指定のあり方 等

③今後のスケジュール

本年夏頃 当面実施すべき南海トラフ巨大地震対策のとりまとめ
 本年冬頃 南海トラフ巨大地震対策の全体像のとりまとめ

2. 首都直下地震対策検討ワーキンググループ(仮称)

①設置趣旨

首都直下地震について、最新の科学的知見に基づいて、相模トラフで発生する規模の大きな地震も対象地震として、東日本大震災の教訓を踏まえた、首都直下地震対策について検討するため、新たに防災対策推進検討会議の下に設置

②主な検討課題

- ・科学的知見に基づく、首都直下地震の地震像(震度分布・津波高)
- ・首都直下地震による定量的な被害想定、定性的な被害シナリオ
- ・首都中枢機能の継続性確保対策
- ・首都直下地震に対する予防、応急、復旧・復興の各対策の方向性 等

③今後のスケジュール

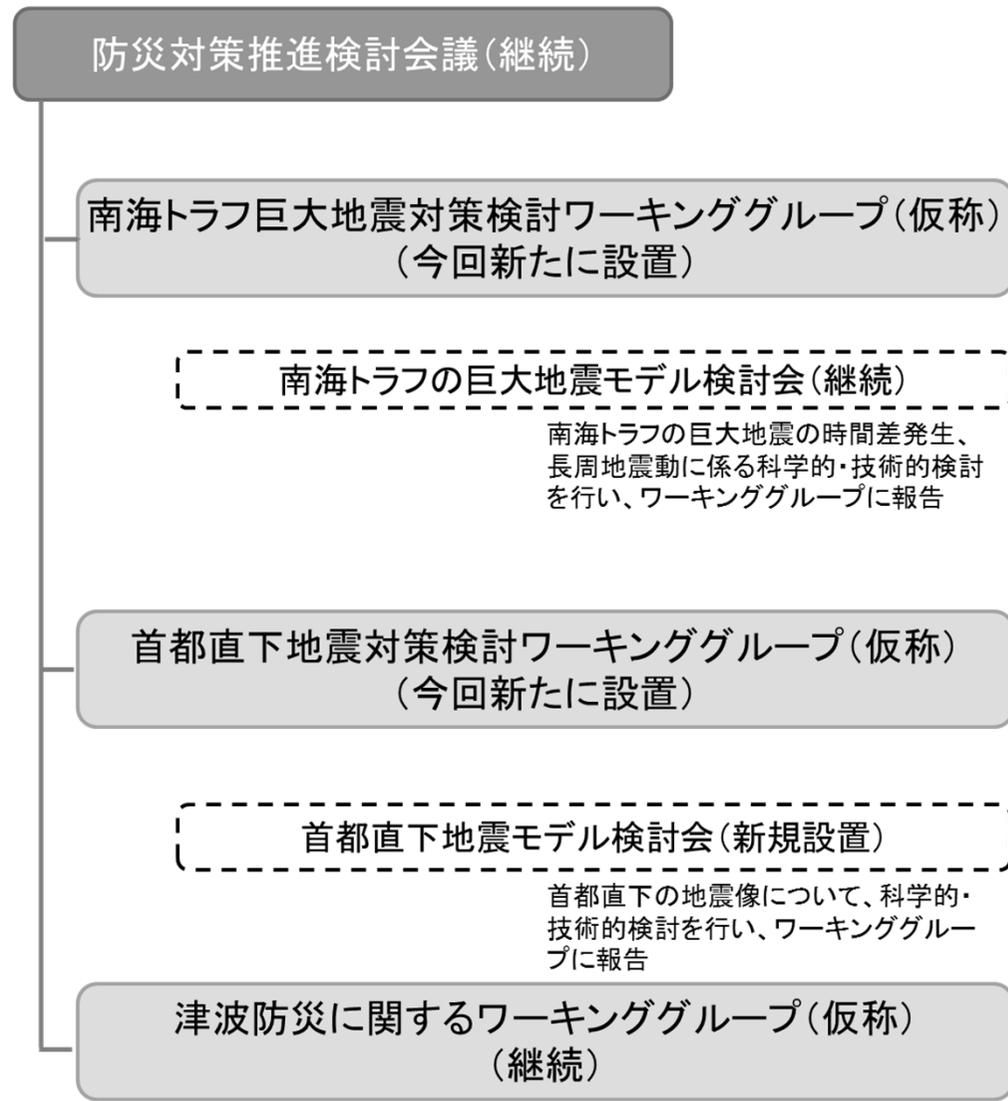
本年夏頃 当面実施すべき首都直下地震対策のとりまとめ
 来年春頃 首都直下地震対策の全体像のとりまとめ

3. 津波防災に関するワーキンググループ(仮称)

現在、中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」に設置されている「津波防災に関するワーキンググループ」について、同専門調査会の終了に伴い、防災対策推進検討会議に移管。

これまで3回開催してきたところ、今後さらに検討を進め、本年夏頃にワーキンググループの最終とりまとめを予定。

中央防災会議における地震対策の検討会議の構成(案)



南海トラフの巨大地震の時間差発生、長周地震動に係る科学的・技術的検討を行い、ワーキンググループに報告

首都直下の地震像について、科学的・技術的検討を行い、ワーキンググループに報告

「災害時の避難に関する専門調査会」から移管

中央防災会議のワーキンググループ
 内閣府に設置の検討会